

器 01 手術台及び治療台
一般医療機器 手術台アクセサリ （70469000）
支脚器 X T V

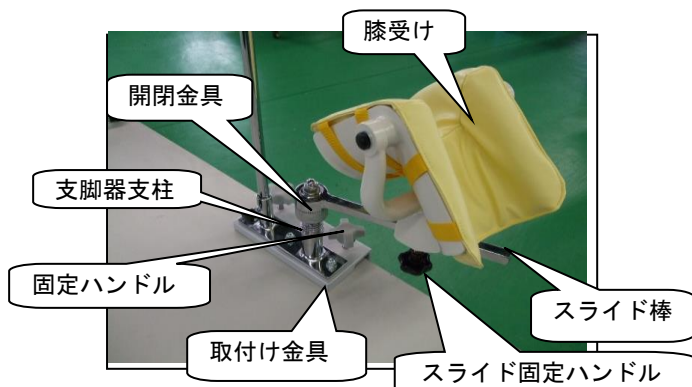
【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本品は、以下の各ユニットから構成されている。

標準構成

- 1) 開閉金具
- 2) 支脚器支柱
- 3) 固定ハンドル
- 4) 取付け金具
- 5) スライド固定ハンドル
- 6) スライド棒
- 7) 膝受け



2. 原理

本品は、X線テレビ装置と組合せて被検者の膝を支えるように設計されている。

膝受けをスライド棒に取付け被検者の体格に合わせてスライドさせることで位置決めを行うことができる。スライド棒は支脚器支柱のギヤ部に連結しているので回転することができる。ギヤの仕組みは外側には自由に開くが内側には閉じない構造である。

【使用目的又は効果】

本品は、X線テレビ装置と組合せて被検者の膝を支える為に使用する。

泌尿器科系、婦人科系のX線検査で被検者の膝を安定的に支える事ができる。

【使用方法等】

1. 設置方法

指定されたX線テレビ撮影台や、アタッチメント以外には、取り付けないこと。

取付け金具をアルミレール又は天板サイドに固定ハンドルで確実に固定します。

支脚器本体をスライド棒に差し込み固定ハンドルを任意の位置で締め付ける。

2. 使用方法

スライド棒の根元回転部分は片歯切り構造により支脚器本体を片側に 360 度回転させることができる。回転軸下部のローレット部分を下げるとスライド棒が 360 度左右の回転がフリーの状態になる。

スライド固定ハンドル操作により支脚器本体をスライドさせ膝の保持状態を調整する。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) 未整備の状態で使用すると、部品の落下や装置の転倒、破損による健康被害や火災発生につながる恐れがあります。
- 2) 支脚器本体中央部に 180N 以上の負荷を加えないでください。機器の破損の原因になります。
- 3) 各固定ハンドルが確実に固定されているか確認すること。確実に固定されていないまま使用すると機器が動き、落下する恐れがあります。
- 4) 膝受けに被検者の膝を載せたままで各固定ハンドルを操作する場合は膝受けを支えながら操作すること。支えずに操作すると急激な衝撃がかかり機器の破損や被検者に健康被害を与える原因になります。
- 5) 可動部には被検者の方が触れないように注意すること。特に固定ハンドル等に触れるとマット部が動き手、足を挟むことがあります。
- 6) 位置決定後は必ずロックし確実に固定すること。
- 7) 高齢者、小児等、介助者が必要な場合の検査は介助者を付けること。

〈妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用〉

妊婦、妊娠の疑いのある者、授乳中の者、及び小児へ使用する場合は医師の指示のもとで慎重に行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

動作保証条件（撮影室内）

温度 10～40℃ 湿度 30～85%RH 気圧 700～1060 hPa
結露しないようにご注意ください。

〈耐用期間〉

10 年〔自己認証（当社データ）による〕

（但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品の交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある）

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検（日常点検）〉

- 1) 目視による点検
 - (1) 外観の確認
装置の外観に異常がないことを確認すること。
・ ケーブル、附属品などに損傷や磨耗がないこと。
 - (2) 清浄性の確認
清浄な状態であることを確認すること。
・ 装置に被検者の体液、血液、汚物及び造影剤等が付着していないこと。
 - (3) 装置周辺の確認
装置の妨げになる物が無いこと。

2) 機能の確認

(1) 装置の正常状態の確認

装置の正常状態・正常動作を確認すること。

- ・可動部の動作
- ・異音、異臭がないことを確認すること。

(2) 装置の固定状態の確認

装置の固定を確認すること。

(3) 安全機能の確認

所定の安全機能が正常に作動することを確認すること。

(4) 故障時の対応

修理が完了するまで装置の使用を禁止するよう指示・表示をしてください。人身事故や火災発生につながる恐れがあります。

(5) 洗浄・消毒

- ・本装置を清掃する際、シンナーやベンジンなどの溶液やコンパウンドなどの研磨剤を含むものを使用しないこと。
- ・金属やゴムに対して強い腐食性を持つ塩素系消毒剤、または消毒剤の取扱説明書に金属・プラスチック及びゴムの内一つでも使用が不適と注意書きのある消毒液を使用しないこと。

(ここでの装置とは支脚器のことである。)

詳細は取扱説明書を参照すること。

(6) レザー部の清掃

- ・柔らかく清潔な布で乾拭きする。
- ・清潔な水もしくはぬるま湯を含ませた布で水拭き後乾拭きする。
- ・汚れがひどい場合は、水もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り水拭き後乾拭きする。

〈定期交換部品及び消耗品〉

特に設定はしておりません。使用頻度、操作方法、経年劣化により下記部品交換が発生する場合があります。

- ・膝受けマット

〈業者による保守点検〉

1年ごとの定期点検を弊社または弊社の指定する業者に依頼すること。

項目	点検時期	点検内容
各部重要固定部	1年	固定ねじの増し締め

詳細は取扱説明書を参照すること。

〔製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等〕

製造販売業者：三共医療機株式会社

住所：大阪市平野区加美東 6-14-22

〔販売業者（販売店）〕